

リンクスの 事業再生現場

レポート 第92回

Rincs (株) リンクス

宇都宮市西一の沢町8-22 栃木県林業会館5F
TEL : 028-634-5088
Mail : info@rincs.biz
URL : http://www.rincs.biz/

【物流危機】

アメリカの対イラン制裁をめぐり、燃料価格が高騰しています。ガソリン価格は3年10カ月ぶりの高値です。我々の財布にも重くのしかかっていますが、最も深刻なのは運送業者です。中小の運送業者でも年間になると数百万円の違いが出てきます。

加えて、運転手の高齢化および運転手不足は、これから更に問題化してくると思われま

す。運送業者の外部環境リスクは多々ありますが、会計面においてもリスクに晒されています。

A社は創業30年の運送業者であり、現在の社長は2代目です。車両30台を持ち、食料品から住宅資材まで様々な商品を輸送しています。数年前までは、運送業者間のダンピング競争に巻き込まれ、安値受注が原因の赤字状態が継続していました。当時は運送業者への参入が相次ぎ、過当競争の状況でした。

私共は、金融機関からの依頼により資金繰り改善のための緊急リスケジュール、そして、経営改善計画を作成しました。赤字の原因は、燃料費が上がっているにも関わらず旧来の運賃を値上出来ずにいたことでした。そこで、経営陣が一丸となって取引先との交渉にあたり、収益状況を大きく改善することが出来たのです。

問題はここからです。ここ数年の業績悪化により、車両の入替がストップしていたのです。計画作成から3年が経ち、業績も大きく改善してきたため、車両の入替を実施することとしました。全20台の車両のうち既に5台が10年を超えていま

す。走行距離も100万キロ越えです。車両ごとの修繕費をみたところ、早急に3台の設備更新が必要な状況です。金額にして45百万円になります。

そこで、従来から取引のあるリース会社へ申込みしたところ、何とか2台の承認を得ました。残り1台はメインバンクからの調達を目指します。条件変更後、初めての借入申し込みです。支店の担当者もたいへん乗り気であり、期待していたものの予想外の回答が来たのです。理由を尋ねたところ、「債務超過額が大きい」とのことです。

確かに債務超過額は問題です。ただし、その原因を深掘りしてくればこのような判断には至らないはずで

す。債務超過の原因は、車両の償却負担です。税法上車両の償却は5年ですが実際には10年は使用しています。また、売却すれば多額の売却益がでるはずで

す。国は投資促進のために、償却期間を短く設定してくれていますので、実際には価値があるトラックも簿価は1円です。簿価のみで考えるのか、実勢価格で考えるのか、金融機関によって判断は様々です。A社のメインバンクは残念ながら前者であったということです。

資産のほとんどが車両という場合、5年で資産はゼロになってしまいます。荷主さんからは5年で償却できるほどの運賃はいただけません。現状、中小運送業者が受取る運賃では、車両借入の返済には10年程度かかります。物流は経済の血管です。そのロジックを理解し、対応してくれる金融機関が増えることを期待します。



〈著者プロフィール〉

代表取締役社長 佐藤 正人

昭和37年生まれ、大田原高校、新潟大学卒。

昭和60年足利銀行へ入行後、営業店、審査部門を経て平成16年退社。

在職中の事業再生の経験を活かし、平成18年栃木県で初めての事業再生専門のコンサルティング会社である(株)リンクスを設立し代表者に就任。以来地元中小企業の多くの事業再生を行っている。